

「日々の理科」(第 2282 号) 2020, 10, 11

「火星大接近写真集 (3)」

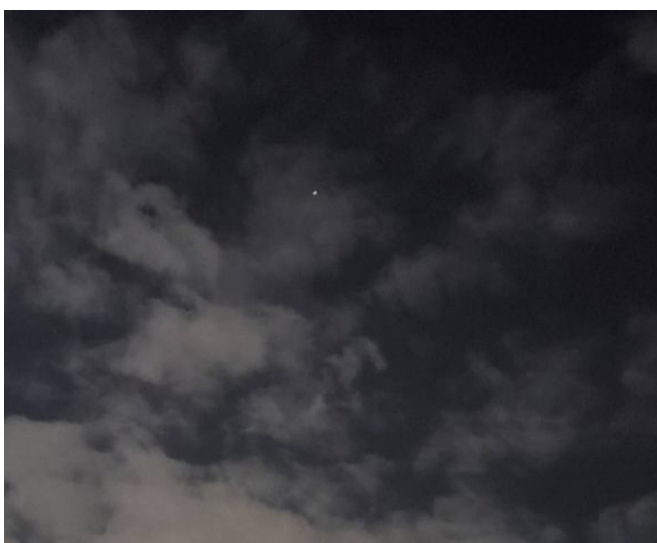
お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

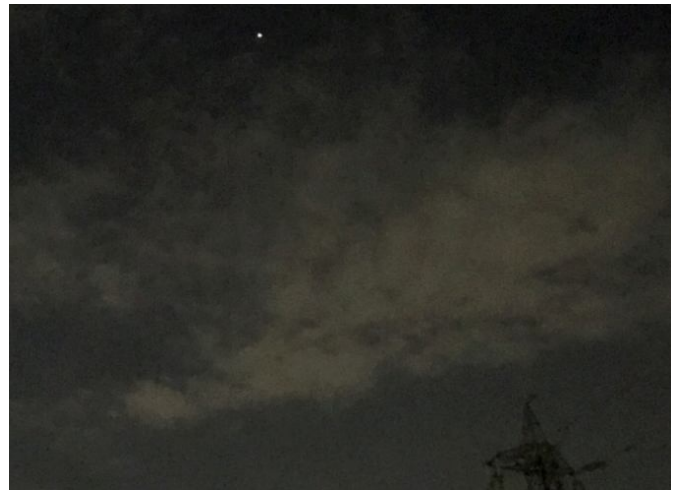
田中 千尋 Chihiro Tanaka



【神奈川・辻堂】これも月と火星を一緒に写したものだ。手前の松の葉が効いている。このように地上物を入れた天体写真は、季節感や観察場所の様子がわかるので、とても良い。



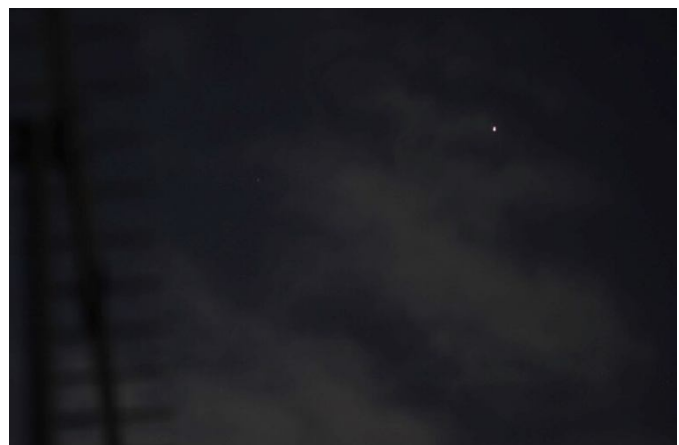
【東京・田無】雲間に浮かぶ火星。よく見ると、火星本体に雲(高積雲)の一塊が架かっている。暗い星だとこの程度の薄い雲でも隠れてしまうが、この日の火星は -2.6 等と明るいので、雲に負けていない。



【東京・八王子】これも雲間の火星。夜間なのに雲がやや明るく写っているのは、月明かりと街明かりに照らされている為だ。



【東京・武蔵小金井】月と火星と樹木の影がすばらしい。非常に情景的な天体写真だ。スマホでここまで撮れることに感心した。



【東京・武蔵小金井】上の写真のご家族の写真。雲が晴れて、あわてて一眼レフを持ち出して撮影したという。火星がしっかり点像として写っている。